

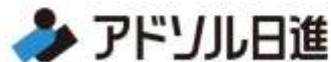


# 2019

2018.4.1～2019.3.31

2019年3月期

## 決算説明資料



代表取締役社長 上田 富三

2019年5月28日

アドソル日進の上田でございます。

本日は、ご多用な中、  
当社の、「2019年3月期決算説明会」に  
お越しいただき、  
誠にありがとうございます。

それでは、  
お手元のスライドに従いまして、  
ご説明申し上げます。

## 2019年3月期 決算概要

アドソル日進の取組み

2020年3月期 重点施策と業績見通し

2

ご覧の項目について、  
ご説明いたします。

まずは、  
「2019年3月期決算概要」から、  
ご説明いたします。

**最高売上・最高利益 更新!**

売上高

**121億94百万円**前期比 + **10.9%**期初計画 + **6億94百万円**

営業利益

**10億12百万円**前期比 + **21.6%**期初計画 + **1億32百万円**

配当

**27円**前期比 + **6円増配**期初計画 + **5円増配**

2019年3月期の、業績総括です。

売上高は、「10.9%」増の  
「121億94百万円」、

営業利益は、「21.6%」増の  
「10億12百万円」と、

最高売上と、最高利益を更新し、  
特に、営業利益は、  
「9期連続」の増益となりました。

また、年間配当は、  
前期比「6円増配」の「27円」と、  
「9期連続」の増配を  
予定しております。

◆ エネルギー・次世代自動車 好調!

	2018/3期		2019/3期		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
(単位: 百万円)						
売上高	10,997	-	12,194	-	1,197	10.9
売上総利益	2,516	22.9	2,820	23.1	303	12.1
販売管理費	1,683	15.3	1,808	14.8	124	7.4
営業利益	832	7.6	1,012	8.3	179	21.6
経常利益	857	7.8	1,012	8.3	154	18.1
当期純利益	553	5.0	687	5.6	134	24.2
E P S (円)	61.3	-	75.9	-	14.6	23.8
R O E (%)	17.2	-	18.9	-	-	-

4

損益計算書の概要は、  
ご覧の通りです。

- ・「売上総利益率」は、  
「0.2ポイント」アップの、  
「23.1%」、
- ・それに対して、「販売管理費比率」は、  
「0.5ポイント」減少し、
- ・「営業利益率」は、「8.3%」と、  
「0.7ポイント」アップしました。

2020年以降を見据えた「投資」  
をしっかりと行いながら、  
「収益性の向上」に  
チャレンジして参りたいと考えております。

- ◆ 社会インフラ事業 : エネルギー（電力・ガス）拡大
- ◆ 先進インダストリー事業 : 次世代自動車（先進EV、自動運転）拡大
- ◆ IoX総合エンジニアリング事業 : IoT、セキュリティ堅調

(単位: 百万円)	2018/3期		2019/3期		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
売上高	10,997	-	12,194	-	1,197	10.9
社会インフラ事業	6,845	62.2	7,435	61.0	590	8.6
エネルギー	4,763	43.3	5,680	46.6	917	19.3
交通・運輸	1,214	11.0	935	7.7	△279	△22.9
公共	241	2.2	198	1.6	△43	△17.8
通信・ネットワーク	625	5.7	621	5.1	△4	△0.7
先進インダストリー事業	4,151	37.8	4,758	39.0	606	14.6
制御システム	1,650	15.0	2,047	16.8	396	24.0
基盤システム	1,879	17.1	1,939	15.9	59	3.2
ソリューション	622	5.7	772	6.3	150	24.2
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	3,592	32.6	3,917	32.1	325	9.0

セグメント別の概要は、ご覧の通りです。

「社会インフラ事業」では、  
電力・ガスの「エネルギー分野」が、

また、  
「先進インダストリー事業」では、  
次世代自動車や、医療機器などの、  
「制御システム分野」が、

それぞれ好調に推移しました。

それでは、次項以降で、  
詳細の、ご説明をいたします。

## 受注状況

- エネルギー
  - 電力関連のベースロード化（自由化、分社化）
  - ガス関連拡大（自由化、設備関連、サービスシステム他）
- 交通・運輸
  - 宇宙関連は、計画通り推移
- 公共
  - 防災関連は、次案件の端境期
- 通信・ネットワーク
  - 次世代通信（5G）が、計画通り推移



まず、「社会インフラ事業」ですが、

- ・「エネルギー分野」は、電力・ガスの、「分社化」や、「新サービスの創出」等、旺盛な需要を取込み、拡大しました。
- ・案件の端境期などの影響で、「交通・運輸」「公共」「通信・ネットワーク」が、それぞれ減少しておりますが、「宇宙」や「次世代通信・5G」など、成長のカギとなる領域には、しっかり参画しております。

結果、

売上高は、

「8.6%増」の「74億35百万円」、

また、受注残高は、

「37.4%増」の、「13億56百万円」となりました。

## 受注状況

- 制御システム
  - 次世代自動車（先進EV、自動運転等）関連への対応に注力
  - メディカル関連：多拠点・分散開発推進
  - IoT関連（基盤関連）が拡大
- 基盤システム
  - 決済基盤システム（新規）拡大
- ソリューション
  - セキュリティ・コンサルティング関連が継続
  - LynxSECURE 採用（IoTシステム関連、公共ネットワーク）
  - 地理情報（GIS）が堅調



続いて、「先進インダストリー事業」です。

- ・「制御システム分野」では、先進EVや自動運転等の次世代自動車関連や、メディカル関連などが堅調に推移しました。
- ・「基盤システム分野」では、前期に新たに参画した「決済基盤システム関連」が、拡大しました。
- ・「ソリューション分野」では、コンサルティング・サービスが堅調に推移し、IoTセキュリティのLynxSECUREの提供・採用も進みました。

以上の結果、  
 売上高は、  
 「14.6%増」の「47億58百万円」、  
 また、受注残高は、  
 「8億66百万円」となりました。

## 受注状況

- 先進的なIoTデバイス制御関連（次世代自動車等）  
IoTプラットフォーム関連
- GIS（地理情報システム関連）
- セキュリティ・ソリューション（コンサルティング、LynxSECURE） 堅調に推移

成長  
ドライバー!



続いて、当社のIoT関連の取組みを示す、「IoX総合エンジニアリング事業」です

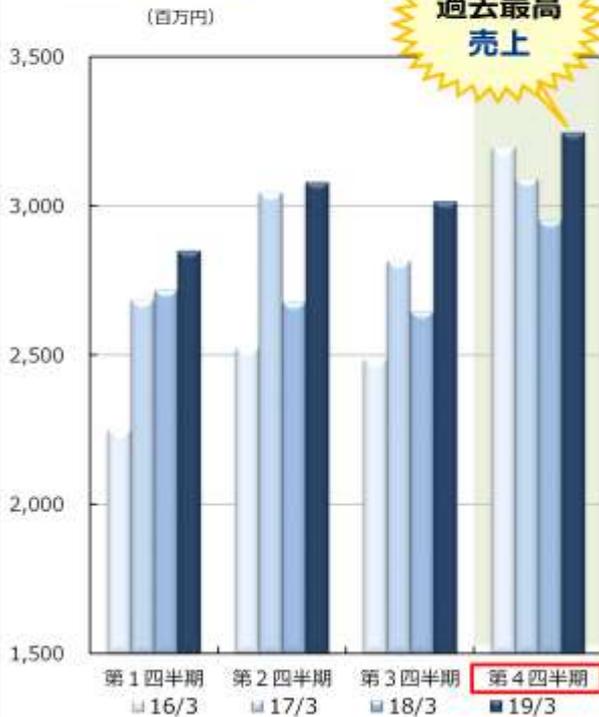
- ・「IoT関連」では、「つながる車」等をテーマにした、「次世代自動車関連」や、「IoT・プラットフォーム関連」、「GIS(地理情報システム)」等が拡大しました。
- ・「セキュリティ関連」では、「コンサルティング・サービス」が堅調に推移し、また、セキュリティ・ソリューション:LynxSECUREが、公共ネットワーク系に続き、採用されました。

以上の結果、売上高は、「9.0%増」の「39億17百万円」となりました。

引き続き、IoTへの取組みを推進し、「Society5.0」の実現に、貢献してまいります。

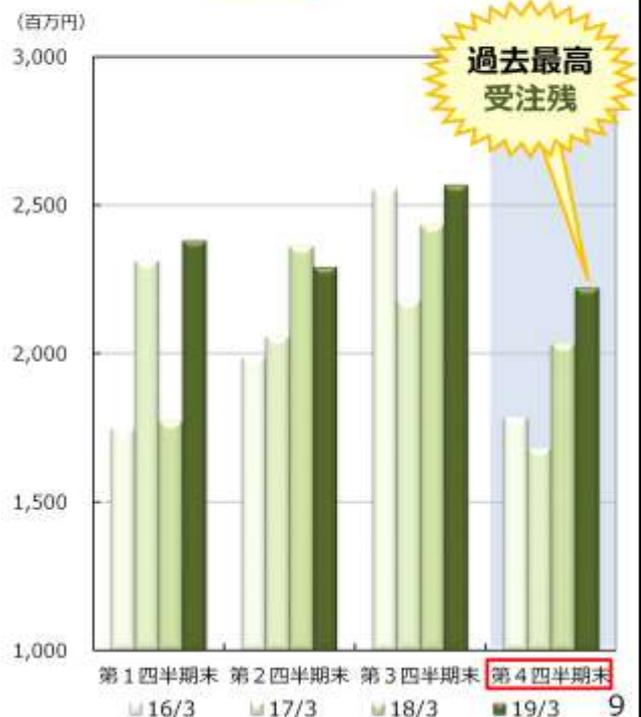
## 売上高

●エネルギー分野 拡大



## 受注残高

●受注残高 22億円 超過



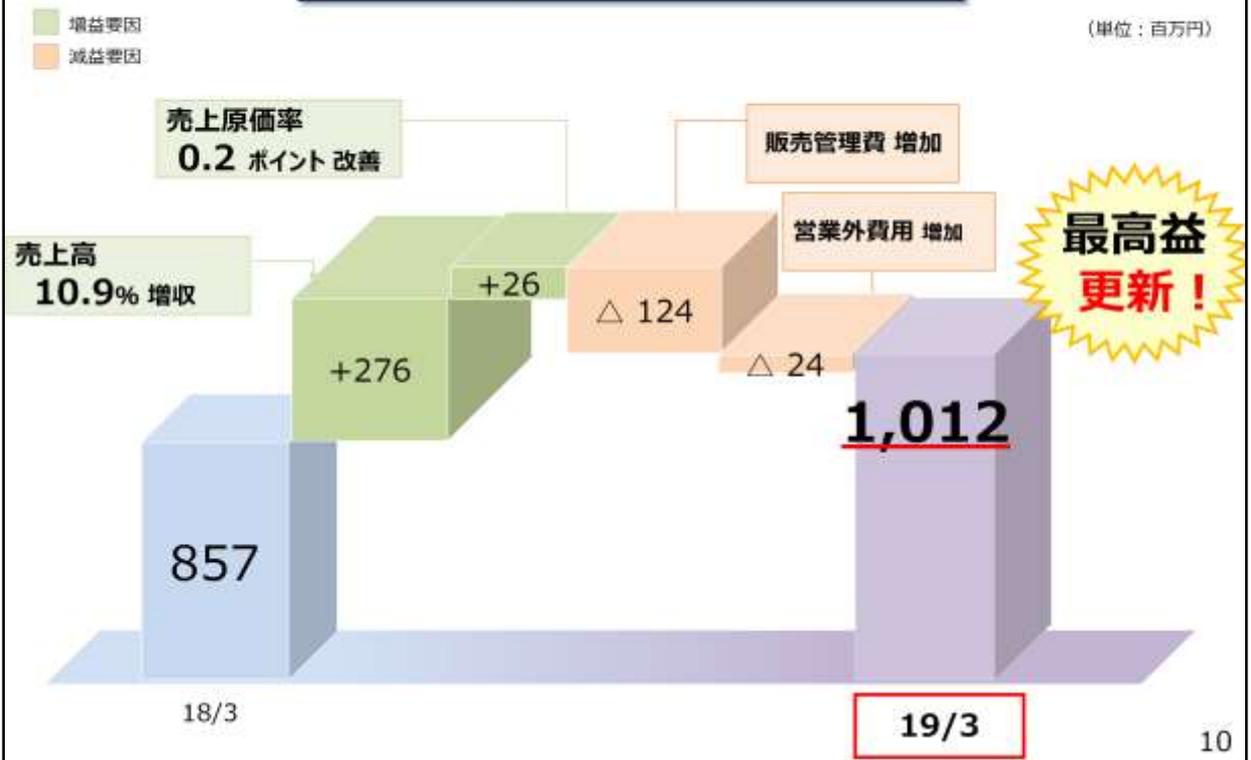
四半期毎の「売上高」と「受注残高」は、  
ご覧の通りです。

2019年3月期は、  
毎四半期、「過去最高の売上高」を  
更新することが出来ました。

期末の受注残高は、  
22億円と、  
「過去最高の期末受注残高」を、  
更新することができました。

主な変動要因

(単位：百万円)



続いて、経常利益の分析です。

「増収効果」や、「原価率」の改善等により、

「10億12百万円」と、「過去最高」を更新しました。

# 貸借対照表(前期末比較)

## 資産

● 総資産： **66 億円** (4.9 億円増)

(単位：百万円)

■ 流動資産 ■ 固定資産



## 負債・純資産

● 自己資本比率： **58.7 %** (3.7% 上昇)

(単位：百万円)

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



貸借対照表は、ご覧の通りです。

自己資本比率は、  
「58.7%」と、  
前期比「3.7%」アップしております。

## 概要

(単位：百万円)	18/3	19/3	増減	変動要因	
営業活動 キャッシュ・フロー	814	436	△378	・税引前当期純利益	1,013
				・減価償却費	98
				・退職給付引当金の増加	31
				・売上債権の増加	△413
				・たな卸資産の増加	28
				・法人税等の支払	△330
投資活動 キャッシュ・フロー	△103	△611	△508	・有形固定資産の取得による支出	△32
				・無形固定資産の取得による支出	△540
				・敷金及び保証金の契約による支出	△35
財務活動 キャッシュ・フロー	△235	△245	△10	・短期借入金の純減少額	△40
				・長期借入金の返済による支出	△40
				・配当金の支払額	△198
現金及び現金同等物の 期末残高	1,793	1,372	△421		

キャッシュ・フローの状況は、  
ご覧の通りです。

2019年3月期 決算概要

アドソル日進の取組み

2020年3月期 重点施策と業績見通し

13

次に、  
2019年3月期の、  
当社の取組みをご紹介します。

「IoT時代のセキュリティ・フォーラム」4年連続

400名



## プログラム

## ■キーノートスピーチ

arm

VP, Charlene A. Marini氏

XILINX

Director, Daniel Isaacs氏

## ■講演

LYNX SOFTWARE

VP, Arun Subbarao氏

アドソル日進

IoTシステム事業部長 片山 健児

## ■個別セッション

アドソル日進 / ラック社 / ニューテック社

## 概要

- ◆日時 2018年10月12日 12:00～18:00
- ◆会場 グランドプリンスホテル高輪 (東京都港区高輪 3-13-1)
- ◆主催 アドソル日進
- ◆協賛



## 展示会



アドソル日進 / ラック社 / ニューテック社 / たけびし社  
 コニカミノルタ社 / パナソニック社 / ミツイワ社  
 ウェブルート社 / GKI社 / Top Out Human Capital社

14

まず、昨年「10月」には、「4年連続」となる、「IoT時代のセキュリティ・フォーラム2018」を開催しました。

今回は、「欧米」から、半導体の「アーム社」、と「ザイリンクス社」で、「IoT」や、「セキュリティ」ビジネスを推進するお二方に、講演をいただきました。

また、「11社の協賛会社様」からも最先端の「IoTセキュリティ」に関する講演や、展示をいただきました。

「400名」を超えるお客様をお迎えし、大変大きな反響を頂きました。

尚、本年も、10月に開催する予定です。詳細は今後、発表してまいります。

Lynx IoT 高機能 行進

セキュア  ゲートウェイ



### 介護分野

「隔離」と「遮断」で、  
ITとOTを、安心・安全に接続！



Lynx IoT 高機能 行進

セキュア  アダプター



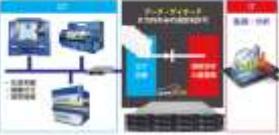
### 工場のIoT

「工場」と「ITネットワーク」接続！  
片方向通信で、IoT化を実現



Lynx IoT 高機能 行進

セキュア  ログサーバー



### IoT工場 生産効率化

「工場」のリアルタイム・データと、ログ収集  
IoTと、AI分析で業務効率化！データ保護！



15

このフォーラムの、  
展示コーナーでは、  
協賛会社様や、当社から、  
ご覧の、ソリューションを展示・ご紹介しました。

いずれも、IoTシステムに必要な  
セキュリティを兼ね備えた、  
ソリューションです。

一番上の、「セキュアゲートウェイ」が、  
お客様の介護分野の製品で採用されるなど、

「工場」や、「IoT」をキーワードにした、  
採用や、PoC(実証実験)が、始まっています。



**採用!**

**エネルギー企業**

**セキュア レガシー for Windows**

「隔離」と「遮断」で、サポート切れ・レガシーOS 安全利用!

---



**車載・重工業・エネルギー・ネットワーク**

**ARM版 LynxSECURE**

アームユーザー待望! Arm上で、LinuxとリアルタイムOS統合

---

**SUN MAP** GIS (地理情報システム)  
地図情報と、さまざまな情報の融合で見える化と、効率化を実現!

**ACCESS** 特許! 電界通信  
無線通信技術で高セキュリティ、ピンポイント認証!

---

**Location Quoppa** 位置検知システム  
無線通信技術で、人・モノの位置把握確認と、作業の無駄をカット!

**MARS** テスト自動化!  
工数削減、ミスゼロ、品質UP!

次のページですが、

サポートが切れた旧OSを安全に、利用することができる「セキュア・レガシー」は、「大手エネルギー企業」様で、ご採用頂きました。

また、「IoT機器」で大きなシェアを持つArm社のチップに対応したLynxSECUREもリリースしております。

尚、本年度も、セキュリティ関連製品のリリースを予定しております。

「米国 RSAカンファレンス 2019」 3年 連続出展



概要

- ◆日時 2019年3月4日～8日
- ◆会場 The Moscone Center (米国サンフランシスコ)

・1993年より、毎年開催。  
 ・世界最大の、最先端のセキュリティ専門カンファレンス&展示会  
 (IT技術、標準規格、実装、法規格、政策、セキュリティ脅威など)

ミニセミナー



日本パビリオン



さらに、  
 プロモーション活動としては、  
 米国、サンフランシスコでの、  
 世界最大のセキュリティ専門カンファレンスである、  
 「RSAカンファレンス」に、  
 3年連続で出展しました。

欧米での、最新の  
 IoTセキュリティの情報収集と、  
 研究開発活動に、  
 今後も注力してまいります。

次回は、毎年春にドイツで開催される  
 欧州最大の展示会：ハノーバーメッセに  
 出展を計画しております。

「フォーラム・セミナー・展示会」へ、積極的に参加

- ◆ Security Days Spring 2019 東京/大阪/名古屋  
(2019/3/6~8,3/1,2/22 JPタワーホール、ナレッジキャピタル、JPタワー)
- ◆ IoT World Conference 2019 ~春~ 東京/名古屋  
(2019/3/5,2/21 JPタワーホール、JPタワー)
- ◆ 第53回スーパーマーケット・トレードショー2019  
(パナソニック産機システムズ社、2019/2/13~15 幕張メッセ)
- ◆ IoT in Action - TOKYO  
(2019/1/22 東京コンファレンスセンター・有明)
- ◆ 第3回 スマート工場 EXPO  
(2019/1/16~18 東京ビックサイト)
- ◆ 立命館大学・京都女子大学・京都産業大学  
「サイバー犯罪対策探究会」  
(2018/12/22 イオンモールKYOTO Sakura館)
- ◆ 慶応義塾大学 SFC Open Research Forum 2018  
(2018/11/22~23 東京ミッドタウン)
- ◆ ET/IoT Technology 2018  
(スマートジャパンアライアンス、2018/11/14~16 パシフィコ横浜)
- ◆ 地理情報システム学会 第27回学術研究発表大会  
(2018/10/19~21 首都大学東京)
- ◆ フードセキュリティジャパン 2018  
(紀文フレッシュシステム社、2018/9/26~28 東京ビックサイト)



このほか、

提案活動の強化として、  
ご覧の  
フォーラム・セミナー・展示会へ参加し、

当社独自の  
スマート・ソリューションや  
セキュリティ・ソリューションの訴求と、

当社ブランドの向上を  
図っております。

立命館大学との「**産学連携協定 締結**」

～ IoTセキュリティ分野を主とする 科学技術の発展 ～

1 セキュリティに関する  
最先端テクノロジーの研究

2 IoTセキュリティ・  
ガイドラインの検討・検証

Point !!  
3 IoTセキュリティの、  
“研究センター”  
“コンソーシアム” 設立



4 IoTセキュリティ  
人材の育成



立命館大学 草津キャンパス

産学連携協定 協定締結式



協定締結式、及び共同記者会見を開催



(2019年4月：立命館大学 東京キャンパスにて)

つづいて、  
産学連携の取組みです。

この4月に、立命館大学と、  
IoTセキュリティ分野を、主とする科学技術の発展  
を目指す、「産学連携協定」を締結しました。

この4月22日には、  
共同で協定締結式と記者会見を行いました。

今後、  
最先端テクノロジーの研究などに加え、  
将来的には、  
「研究センター」や「コンソーシアム」を設立し  
国内のIoTセキュリティの最先端の機関を  
視野に活動していきます。

次世代IoT機器向け 組み込み「マルチコア制御システム」



・立命館大学：毛利研究室

国内最先端の研究 ⇒ オペレーティングシステム（OS）など、  
「システムソフトウェア」「セキュリティ」「ネットワーク」分野

次世代IoT・デバイス



組み込み  
マルチコア制御システム



(2018年9月：当社にて)

さらに、立命館大学とは、  
昨年9月、  
OSやセキュリティ等で最先端の研究をされている  
「毛利研究室」と、

次世代のIoT機器での活用が見込まれる  
「マルチコア制御システム」の  
産学連携・共同研究を、スタートしております。

「IoT向けプラットフォーム」の研究・開発や、  
「IoT機器向け組み込みシステム」に関連する  
「次世代技術」を探求し、

新たな強みやソリューションの創出を目指します。

産学連携で、「市場創成」「最新技術」を!!

名古屋工業大学

・「制御システムのサイバー攻撃対策」

- ◆「つるまひプロジェクト」に参加  
工場、プラントなどの制御システムを標的としたサイバー攻撃の  
防御技術及び制御製品のセキュア化技術に関する研究



名古屋工業大学



制御プラント

早稲田大学

・「EMS 新宿実証センター」

- ◆早稲田大学先進グリッド技術研究所と経済産業省による、日本初の試み
- ◆電気・ガス事業者、通信事業者、ハウスメーカー、自動車メーカー、  
エネルギー・家電・通信機器メーカーなど「26法人」参加
- ◆準通信規格を用いて複数の異なるメーカーの低圧機器を相互に連携



早稲田大学EMS新宿実証センター

立命館大学

・「IoTセキュリティ / 組み込みマルチコア」

- ◆産学連携協定：IoTセキュリティ分野を主とする 科学技術の発展
- ・セキュリティに関する最新テクノロジーの研究
- ・IoTセキュリティ・ガイドラインの検討・検証
- ・IoTセキュリティ研究センター、コンソーシアムの設立
- ・IoTセキュリティ人材の育成



協定締結式

- ◆次世代IoT機器向け 共同研究
- ・組み込み「マルチコア制御システム」



毛利研究室との共同研究

慶應義塾大学

・「GISと、IoTの融合 / GIS×IoTプラットフォーム」

- ・「i-Construction」（国土交通省が推進する  
建設現場の生産改革の取り組み）対応
- ・地理情報システム学会等で成果発表
- ・バルモント国際共同研究への参加



慶應義塾大学との共同研究



第27回学術研究発表大会



このほかにも、

- ・名古屋工業大学との、「制御システムでのサイバー攻撃対策」
- ・早稲田大学との、「EMS関連」、
- ・慶應義塾大学との、「GIS(地理情報)関連」

など、取り組んでおります。

今後も、「医療・セキュリティ・教育」など  
様々なテーマで、  
共同研究を予定しております。

◆**包括契約締結**

- ・米国 Lynx 社の「**全製品**」
- ・国内総代理店 (**独占販売**)
- ・トータル・サポート
- ・ロングラン・サポート



**IoT機器を守る**

- IoT機器ソリューション  
OS 選定、セキュリティ設計
- ワンストップ  
企画・設計・開発・販売・保守




(2018年4月18日リリース)

**アドソル日進**  
国内総代理店  
**独占販売**

- メーカー、ベンダー
- オフィス、工場、病院
- IoTセキュリティ



22

IoTセキュリティへの取組みとしては、  
 昨年4月に、  
 「IoTセキュリティ・サービス」を、更に強化する為、  
 米国Lynx社とは、30年以上の提携の中で、  
 「セキュリティ・ソリューション: LynxSECURE」や、  
 「IoT機器向け組込みOS」等、  
 「全てのIoTソリューション」を、

当社が日本国内で独占提供する、  
 包括契約を締結しました。  
 ・「オフィス、工場、病院」等の、  
   「IoT・セキュリティ」、  
 ・「産業機器や、医療・介護機器」等の  
   「デバイス・セキュリティ」、  
 ・「重要インフラ」の  
   「ネットワーク・セキュリティ」等、  
 「IoTのセキュリティ」を、ワンストップで  
 ご提供してまいります。

「最先端R&D：米国」「グローバル開発：中国2拠点・ベトナム3拠点」



23

グローバル戦略では、

米国、子会社の「サンノゼR&Dセンター」を通じて、  
「IoT・セキュリティ」での、  
最先端技術のキャッチアップと、  
ビジネスへの展開を  
図ってまいります。

また、  
増加するICT需要に応えるための、  
開発体制を、  
「中国2拠点」、「ベトナム3拠点」の、  
「アセアン地域」で、確立しています。

ベトナム・ダナン拠点 リニューアル



昨年10月には、

「グローバル開発 体制」の拡充として、  
ベトナムの、ダナン・オフィスを、  
拡張・リニューアルしました。

2020年以降も、  
堅調なICT投資が見込まれる一方で、  
「高品質」、「IT人材の不足」、  
「開発 動員力」、「低コスト」などを  
背景に、  
グローバル開発のニーズは、  
ますます高まるものと、考えております。

また、このほか、中国・大連のセンターや、  
東京、大阪、福岡の各国内拠点の整備・拡充も  
行いました。

今後も、各拠点の拡充を行ってまいります。

「上流工程」「高付加価値」へのアライアンス・連携



続いて、アライアンス戦略です。

「コンサルティング」、「セキュリティ」、  
「グローバル」、「IoT」  
をキーワードに、  
高度な専門性を有する企業との  
アライアンス戦略を積極的に推進しております。

また、先ほどの立命館大学との共同研究のように、  
産学連携や、  
先進領域での、団体活動、

米国サンノゼR&Dセンターを通じた、  
最先端の技術習得を推進しております。

ヒューマンテクノシステム・グループ 「開発体制の強化・拡充」

HTS ヒューマンテクノシステム



アドソル日進

◆幅広いICT領域で協業！！

- ◆ エネルギー（電力・ガス） ◆ 医療関連 ◆ 組込みシステム関連
- ◆ 車載関連 ◆ 旅行関連 ◆ 航空関連 等



2018年12月

2020年以降の ICT投資対応

開発体制強化

協業ビジネスの推進

人材交流（品質、マネジメント力）

< 会社概要 >

- ・設立：1997年6月
- ・代表者：
  - 代表取締役会長 菊池 文彬
  - 代表取締役社長 田上 秀尚
- ・本社：福岡県福岡市
- ・拠点：東京、大阪、愛知、
  - 熊本、神奈川、鹿児島
- ・グループ会社：5社
  - ヒューマンテクノシステム
  - ヒューマンテクノシステム東京
  - HTSSイース、アイワザ、ケト
- ・URL：<http://hits.kkhts.com/>
- ・事業概要：パッケージ開発・販売、
  - ソフトウェア開発・設計・製造
  - ソリューションサービス、
  - システムコンサルティング

※当社の関連会社 26

昨年10月には、  
 「ヒューマンテクノシステムホールディングス社」と、  
 「資本・業務提携」を締結し、  
 「第三者割当増資」を引受け、  
 当社の関連会社となりました。

「協業ビジネス」や「人材交流」等を通じて  
 2020年以降も、底堅い  
 ICT投資需要へ対応してまいります。

情報システム監査社「セキュリティ・コンサルティング分野」で協業



情報システム監査



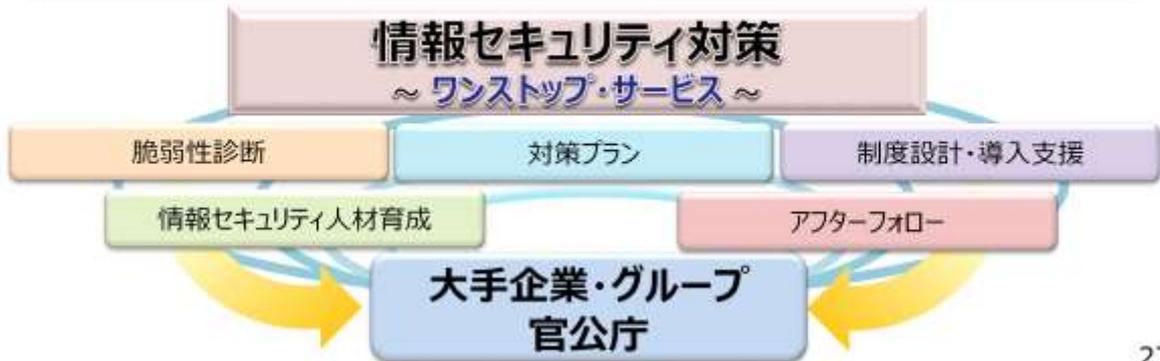
アドソル日進

- ・ 「大企業・グループ会社（グローバル展開企業）」  
「官公庁」向け、サービス展開
- ・ システム監査専門会社として創業（日本初）

・本社：大阪市淀川区  
・代表取締役社長：三谷 康之



(2018年7月：当社にて)



27

また、  
昨年7月には、  
「情報システム監査」社と、

グローバル展開する大手企業様や、  
官公庁向けに

セキュリティ・コンサルティング・サービスの  
提供と  
サービスメニューの開発で  
提携しました。

「情報システム監査」社と共同で、  
コンサルティングサービスの提供も、  
推進してまいります。

ニューテック社と、「セキュア・シリーズ」搭載 大容量PC開発・販売

「セキュリティ対策」「業務の効率化」を両立！

2018年5月 販売開始！

☆新コンセプト製品☆

- ニューテック社が提供するパソコンに、  
「セキュア・シリーズ : セキュア・レスキュー」を搭載
- ・レガシーOSの継続利用
  - ・システムの拡充
  - ・ストレージの大容量化

レガシーOSを「隔離」  
サイバー攻撃を「遮断」



- ハードウェア仕様：
  - CPU：Intel Core i3-6100 3.7GHz2C/4T
  - メモリ：8GB
  - OS用 SSD：64GB
  - データ用 HDD：2TB～10TB (RAID1)
  - 外形寸法：W154 x D188 x H270
- ハードウェア保守：
  - センドバック3年
  - (オプションでオンサイト保守選択可能)
- セキュリティ対策：
  - セキュア・レスキューforレガシー

(2018年4月10日リリース)



- ◆株式会社ニューテック
  - ・本社：東京都港区
  - ・代表取締役社長：柳瀬博文
  - ・東証ジャスダック

つづいて、製品展開としまして、  
昨年4月には、ストレージ専門メーカーの、  
ニューテック社と、

当社のセキュアシリーズを搭載した  
データを守る  
大容量PCを共同で開発し、  
販売を開始しました。

今後も、  
様々な企業様と  
オープンイノベーションによる  
新サービス・製品の開発に  
積極的に取り組んでまいります。

## IoT向け 近距離無線「LoRa」パケットキャプチャー 新発売

「LoRaWAN対応」「全17ch 同時確認可能」

2018年4月 販売開始！

☆新製品☆

IoT向け製品の、開発企業様向け

製品開発では …… 安価・容易に、LoRa方式の認証・適合性を判断！

設置・利用では …… 無線の通信状況確認や、不具合特定に利用！

国内初！



29

また、  
IoTシステムに必要な  
無線通信に関して

製品開発と、IoTシステムの導入を  
飛躍的に効率化させる製品を  
昨年4月に発売しました。

当社のコア・ソリューションの一つである  
「近距離無線通信」での  
サービス拡充にも  
引き続き取り組んでまいります。

2019年3月期 決算概要

アドソル日進の取組み

2020年3月期 重点施策と業績見通し

30

続きまして、  
今期、  
2020年3月期の、  
「重点施策」と「業績見通し」について、  
ご説明いたします。

## 事業領域の拡大

## 社会インフラ事業

- **事業基盤の強化** ⇒ ・**電力関連** (分社化・発送電分離)  
・**ガス関連** (分社化、導管分離)
- **新領域の開拓・拡大** ⇒ 「**宇宙**」「**物流**」「**5G (次世代通信)**」

## 先進インダストリー事業

- **ものづくりIoT化** ⇒ 「**次世代EV自動車**」「**自動運転**」「**産業機器**」ほか
- **キャッシュレス** ⇒ 「**次世代決済・カード**」
- **新領域の展開** ⇒ 先進技術の活用 : 「**ビッグデータ**」、「**AI**」

## 新たな価値の創造・提供に挑戦

## IoX総合エンジニアリング事業

- **差別化技術** ⇒ 「IoTサイバー・セキュリティ・リユース」  
「AI」「ビッグデータ」「GIS (地理情報システム)」「無線通信」

## 競争優位の発揮

- **ソリューション強化** ⇒ **AI-IoTプラットフォーム** (クラウド型)
- **産学連携・共同研究** ⇒ **IoTセキュリティ・GIS・マルチコア**

31

まず、「事業領域」の「拡大」ですが、  
「社会インフラ事業」では、  
電力、ガス共に、本格化する「分社化対応」で、  
領域拡大を図ると共に、  
「新サービス」での対応を強化します。

「先進インダストリー事業」では、  
「次世代EV自動車」、「自動運転」「キャッシュレス」等に、  
「AI」などの、最新テクノロジーを活用し、  
新展開を、加速させてまいります。

「新たな価値の創造・提供に挑戦」では、  
「IoTサイバー・セキュリティ」  
「AI」、「ビッグデータ」、「GIS (地理情報システム)」、「無線通信」等で  
差別化を推進してまいります。

競争優位の発揮では、  
クラウド型の、「AI-IoTプラットフォーム」などの  
ソリューション展開を、強化すると共に、  
「IoTセキュリティ」や「GIS」などで、  
「大学」との「共同研究」を推進してまいります。

◆ 10期連続の増益！（過去最高益更新！！）

	2019/3期		2020/3期		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
(単位：百万円)						
売上高	12,194	-	12,600	-	405	3.3
社会インフラ事業	7,435	61.0	7,535	59.8	99	1.3
先進インダストリー事業	4,758	39.0	5,065	40.2	306	6.4
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	3,917	32.1	4,057	32.2	140	3.6
売上総利益	2,820	23.1	3,089	24.5	269	9.5
営業利益	1,012	8.3	1,100	8.7	87	8.7
経常利益	1,012	8.3	1,108	8.8	95	9.5
当期純利益	687	5.6	703	5.6	15	2.2

32

2020年3月期の、通期業績見通しです。

売上高は 「126億円」、  
 営業利益は 「11億円」、  
 当期純利益は、「7億3百万円」と、

現行・中期計画の、  
 最終年度の売上目標の、  
 「1年前倒し」達成を目指すと共に、  
 「10期連続の最高利益の更新」を  
 見込んでおります。

これにより、現在、  
 中期計画の見直しを、行っております。

まとめ次第、今後、発表してまいります。

◆ 先進インダストリー事業 好調 !! )

(単位：百万円)	2019/3期2Q		2020/3期2Q		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
売上高	5,930	-	6,121	-	190	3.2
社会インフラ事業	3,481	58.7	3,635	59.4	153	4.4
先進インダストリー事業	2,449	41.3	2,486	40.6	36	1.5
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	2,030	34.2	2,058	33.6	28	1.4
売上総利益	1,447	24.4	1,535	25.1	88	6.1
営業利益	525	8.9	537	8.8	11	2.2
経常利益	518	8.7	541	8.8	22	4.3
当期純利益	358	6.1	368	6.0	9	2.5

33

続いて、上期の業績見通しです。

社会インフラ事業では、  
電力、ガスの、エネルギーが、

また、  
先進インダストリー事業では、  
先進EVや、自動運転などの、次世代自動車や、  
医療、メディカル関連を中心に

着実に成長し、

売上高、利益共に  
前期を上回る計画です。

◆ 配当方針

■ 配当性向 **35%**以上

■ 配当計画 年**2**回 (中間、期末)

◆ 配当予想

(単位：円)	2018/3期	2019/3期	2020/3期
中間	10	11	14
期末	11	16	14
年間	21	27	28

◆ 配当推移



続きまして、配当です。

配当性向は、「35%以上」、  
株主配当は、「中間・期末の年2回」と、  
しております。

今期は、  
「上期14円」、「下期14円」の、  
「年間28円」で、  
「10年連続増配」を見込んでおります。

なお、  
今期の配当性向は、「36.3%」の見込みです。

## 対象株主 &amp; 時期

■ 毎年9月30日、3月31日の株主様（年2回）

- 200株以上4,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定
- 4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

## 優待内容

## ■ 200株以上4,000株未満

「緑の募金」付きQUOカードを贈呈

- 200株以上 1,000株未満 500円相当
- 1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当
- 2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

## ● 保有期間特典

1年以上で QUOカード1枚（500円相当）を  
年間 2枚 追加贈呈



## ■ 4,000株以上

● 「緑の募金」付きQUOカード（3,000円相当） 又は

- 「紀州梅」「みかんジュース」「みかんゼリー」「醤油」「お米」等から選べる株主優待カタログ（3,000円相当の商品から一品）を贈呈



注、写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

また、  
「株主還元」として  
「配当」に加え、

「保有株数」に応じた「優待制度」を設けており、  
「梅ギフト」や「クオカード」を

年2回、  
贈呈させていただいております。

また、  
本年度から、お米を優待品に  
追加いたしました。

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先

 **アドソル日進株式会社**

URL <http://www.adniss.jp/>

【本 社】 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川9階、10階

TEL : 03-5796-3131 (代表)

管理本部 経営企画部 広報・IR担当 TEL : 03-5796-3261

メール : [ir@adniss.jp](mailto:ir@adniss.jp)

以上で、  
「2019年3月期」  
決算のご説明を終わらせていただきます。

ありがとうございました。



<事業概要等の資料になります。>  
<ご参照ください。>

## 社会インフラ事業

「エネルギー(電力・ガス)」「道路・鉄道」「航空・宇宙」「公共・防災」「通信ネットワーク」などの社会インフラにおけるシステム・インテグレーション・サービスを展開しています。

### エネルギー分野

電力会社、ガス会社向けの基幹システムや自由化システムなど

### 交通・運輸分野

宇宙、航空、鉄道、道路に関連するICTシステム

### 公共分野

防災、ダム、河川など官公庁や、地方自治体向けのICTシステム

### 通信・ネットワーク分野

次世代通信(5G)など、通信関連のICTシステム

## 先進インダストリー事業

「次世代EV自動車」「産業機器」「設備機器」「医療機器」など、「日本のモノづくり」のIoTの促進と、次世代型の決済システムに関連する、先進的なICTシステムを提供します。

### 制御システム分野

次世代自動車、車載OS、オフィス機器、医療機器、設備機器など、お客様が販売する製品に組み込まれるICTシステム

### 基盤システム分野

決済や、クレジットカード・システムなどの、基盤系ICTシステム

### ソリューション分野

セキュリティや、近距離無線通信、GIS(地理情報システム)等、当社独自のソリューションの提供



社会インフラ事業と  
先進インダストリー事業の  
概要でございます。

## IoX総合エンジニアリング事業

「安心・安全な超スマート社会（Society5.0）」の実現に向け、IoTサイバー・セキュリティ・ソリューションを中核に、AI・ビッグデータ・GIS（地理情報システム）・無線通信等の当社独自のソリューションを提供しています。

### セキュリティ・ソリューション

- ・コンサルティングから、IoT機器向けセキュリティまでを、トータルで提供します。
- ・IoT機器向けセキュリティ・ソリューション：LynxSECURE（リンクスセキュア）
  - 生産工場をまるごと守る : SECURE FACTORY
  - オフィスを守る : SECURE RESCUE for Legacy
  - 建設現場を守る : SECURE RESCUE for USB
  - 病院・介護施設を守る : SECURE RESCUE for ClosedNET
- ・フィジカル・セキュリティ（人体通信） ・脆弱性診断サービス
- ・セキュリティ・コンサルティング・サービス（ガバナンス・コンプライアンス）
- ・ネットワーク・セキュリティ ・セキュリティ人材育成・教育サービス など

### 無線通信ソリューション

- ・IoTシステムに必要な不可欠な無線通信を総合的に提供します。
  - uLocation（屋内での位置検知システム）
  - uStack（近距離無線通信 LPWA、Nb-IoT、Zigbee®等）
  - tACCESS（独自特許の、電界通信システム）
  - uLook（電力などの見える化システム）など

### GIS（地理情報システム）

- ・GIS（地理情報システム）の「コンサルティング」「システム開発」「PoC」「ソリューション」などをワンストップで提供します
- ・SUNMAP®ソリューション
  - SUNMAP for Crisis（BCPや危機管理支援）
  - SUNMAP for VRP（配送ルート計画支援）
  - SUNMAP for SER（商圏分析、マーケティング、現地調査ほか） など



IoX総合エンジニアリング事業の概要でございます。